

平成 31 年 3 月 1 日
観 測 部
地 球 環 境 ・ 海 洋 部

冬（12～2月）の天候

2019年（平成31年）冬（2018年12月～2月）の日本の天候は、東日本以西では冬の平均気温がかなり高く、特に沖縄・奄美は記録的な暖冬となりました。北・東・西日本日本海側の冬の降雪量はかなり少なく、西日本日本海側は記録的な少雪となりました。

2019年（平成31年）冬（2018年12月～2月）の天候の特徴は以下のとおりです。

○東日本以西では冬の平均気温がかなり高く、特に沖縄・奄美は記録的な暖冬となりました

東・西日本と沖縄・奄美では、北からの寒気の影響は弱く、冬の平均気温はかなり高くなりました。特に、沖縄・奄美では冬の平均気温の平年差が $+1.8^{\circ}\text{C}$ となり、冬の平均気温として最も高くなりました（統計開始は1946/47年冬）。

○北・東・西日本日本海側の冬の降雪量はかなり少なく、西日本日本海側は記録的な少雪となりました

北日本日本海側では、発達した低気圧や湿った空気の影響が弱く、冬の降雪量は平野部を中心にかなり少なくなりました。東・西日本日本海側でも、寒気の影響が弱かったため、冬の降雪量はかなり少なくなりました。特に、西日本日本海側の冬の降雪量は平年比7%となり、冬の降雪量として最も少なくなりました（統計開始は1961/62年冬）。

○冬の降水量は、北・東日本で少なく、沖縄・奄美で多くなりました

北・東日本では、発達した低気圧や湿った空気の影響を受けにくく、冬の降水量は少なく、北日本太平洋側ではかなり少なくなりました。一方、沖縄・奄美では、暖かく湿った空気の影響で、冬の降水量は多くなりました。

別紙（概況、統計値等）[PDF形式:605KB]

https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/stat/tenko191202_besshi.pdf

問合せ先：観測部 計画課情報管理室 担当 青木(観測値や記録について)
電話 03-3212-8341 (内線 4154) FAX 03-3217-3615
地球環境・海洋部 気候情報課 担当 竹川(天候の解説について)
電話 03-3212-8341 (内線 3154) FAX 03-3211-8406